

(1) 概要

本町の公共下水道事業は、特定環境保全公共下水道として昭和60年度から工事に着手、平成2年度に供用開始し、平成9年度には下水道普及率100%を達成しております。整備面積は、82.0haで水洗化率は、令和6年度末現在92.7%となっています。

合併処理浄化槽事業については、個人設置型のみ進めています。当町の浄化槽における整備率は30.7%となっており、下水道に比べ整備が遅れている状況にあります。

また、本町の高齢化は深刻な状況で、高齢化率は約44%となっております。下水への未接続、浄化槽未設置世帯の多くが高齢者のみの世帯であるため、水洗化率がなかなか伸びにくいのが現状です。

(2) 生活排水処理普及率の推移

生活排水処理人口普及率：R6 96.5%

R17 96.9%

R27 97.1%

(3) アクションプラン達成のための各事業の取組

1) 下水道事業

下水道の整備は、平成9年に普及率100%を達成しております。しかし、供用開始後35年が経過し施設の老朽化による機能低下などが問題となっております。また、人口減少による有収水量の減少などもあり、今後どのように下水道事業を維持していくかが本町の最大の課題となっております。現在は、故障等による生活排水処理の影響を未然に防止するため、ストックマネジメント計画を基に修繕及び更新を行っております。

下水道処理人口普及率：R6 91.9%

R17 95.3%

R27 95.6%

2) 合併処理浄化槽整備事業

本町では、これまで個人設置型の浄化槽設置者に対して、国からの補助金を活用し実施してきました。平成23年度からは、町独自の補助金を交付し、合併処理浄化槽を設置する世帯に対しての普及促進を図っています。

また、町の住宅リフォーム補助金を活用することで、トイレ等のバリアフリー化にも補助が受けられ、高齢者世帯の整備率向上も図れると考えています。

浄化槽処理人口普及率：R6 4.6%

R17 1.6%

R27 1.5%

(4) 住民との協働

広報誌や納付書送付時にチラシを同封するなどして、水洗化率向上に努めます。